



令和5年2月15日

～信金中央金庫地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」～ 尾鷲市への寄附金贈呈式が実施されました

信金中央金庫（SCB）が実施する地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」において、紀北信用金庫が推薦する尾鷲市の「世界遺産熊野古道を中心とした観光振興事業」が寄附対象事業として選定されました。

1. 「SCBふるさと応援団」の概要

信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、地域経済社会の発展に貢献することを目的とするものです。

2. 事業概要

コロナ禍で減少した観光客の尾鷲市への入込客数をコロナ禍以前の状況へと増加させる支援策として、世界遺産に登録された熊野古道を中心に、尾鷲市を知ってもらい、目的地化してもらうこと、観光客の受け入れ施設を整備することで、来訪者の満足度の向上に繋げ、リピーター客の増加に繋げていく、そして、各種集客イベントを実施することで、来訪のきっかけにしてもらい、旅ナカでの情報発信を促し、相乗効果を生み出すような取組みをする事業です。

3. 贈呈式



左から当金庫 森浦理事長、信金中央金庫 神野支店長、尾鷲市 加藤市長、尾鷲市 下村副市長

- (1) 実施年月日 令和5年2月15日（水）午後1時
- (2) 場所 尾鷲市役所2階 市長室
- (3) 寄付金額 1,000万円